

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院内分泌代謝科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2020年3月1日から6月31日までの間に、糖尿病のために虎の門病院内分泌代謝科で電話による再診を受け、処方を受けた方

2020年4月1日から4月30日までの間に、糖尿病のために虎の門病院内分泌代謝科に通院し、処方を受けた方

【研究課題名】

糖尿病外来における電話再診と血糖コントロールの関連について

【研究の目的・背景】

《目的》

糖尿病患者の対面診療と電話再診で血糖コントロールの違いについて比較検討し、電話再診で血糖コントロールが悪化する患者さんのリスク因子を検討することで、採血を含めた対面診療を要する患者さんの背景を検討するため。

《研究に至る背景》

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、時限的な措置として、電話による再診が可能となりました。一方で、外出自粛による運動量の低下や食習慣の変化により血糖コントロールが急激に悪化している例も散見されます。電話による再診では、採血をすることができないため、糖尿病が悪化している場合に治療を強化することが遅くなり、合併症の進行が懸念されることから、適切な頻度で採血を含めた対面診療を要する患者さんの背景を抽出することが求められると考えられました。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2020年8月21日 ～ 2021年12月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別する

ことができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院内分泌代謝科 糖尿病・代謝部門 部長 森 保道 のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、問診票、薬歴、看護記録など

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 内分泌代謝科 森 保道

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2021 年 9 月 30 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 内分泌代謝科 鈴木優矢

電話 03-3588-1111(代表)